

日 薬  
漆畑氏

## 「医療保険制度改革論議は具体性欠く」

日本薬剤師会の漆畑稔前副会長は24日、東京都内で開かれた長崎大薬学部同窓会の卒業セミナーで講演し、「年1回の薬価改定や保険免責制などは絶対に反対。そもそもいまの医療保険制度改革論議は、各検討課題の細部にわたる具体的な論議をしないまま突き進んでいる」と、制度改革に向けた与党の姿勢を批判した。

医療領域の歳出削減案として浮上していた保険免責制の導入は、自民党の「歳出改革に関するプロジェクトチーム」(座長＝中川秀直政調会長)の具体的な検討課題からは削除はされたものの、漆畑氏は「一定額が保険対象外となれば、患者の負担額は増えても薬局の売上高は下がる。その下がる部分は薬価なのか技術料なのか、その議論すらされずに進んできた。細部を無視した感覚的な論議しかされていないように思える」と述べた。また、「医療関係者の中で、薬の問題に対して最も発言していないのは薬剤師。1人が活発に声を上げてほしい。改革内容が決定してから不満を唱えても手遅れだ」と、薬剤師に対して積極的な発言や行動を起こすことを訴えた。

ノバルティス

## 新規喘息治療薬ゾレアの承認申請を発表

ノバルティス ファーマは26日、抗IgE抗体製剤の新規喘息治療薬「ゾレア皮下注用150mg」について5月31日、承認申請したと発表した。ゾレアは、免疫グロブリンの1つであるIgEに直接結合し作用を阻害することで、喘息のアレルギー・炎症反応を抑制するモノクローナル抗体製剤。これまで行われた国内外の試験では、喘息症状を十分にコントロールできない重症アレルギー性喘息患者に対し、追加的治療として使用、喘息症状のコントロールや発作の減少、患者のQOL(生活の質)改善が明確に示された。またゾレアの有効性は「GINA(Global Initiative for Asthma)」などの世界的治療ガイドラインで認められており、2003年7月に米国で発売され、05年10月にはEU(欧州連合)で承認された。現在では46カ国で承認され、英国、ブラジルなど15カ国で販売されている。同社は「重症喘息患者の負担を軽減し、QOLの改善に貢献するため、できるだけ早期の国内販売を目指したい」としている。

〔移 転〕

アルフレッサ株式会社は本社を移転し、7月3日から業務を開始する。新住所は、〒101-8512 東京都千代田区神田美土代町7番地 住友不動産神田ビル13階、14階。代表電話および各部署の電話番号に変更はない。